

「楊洲周延 明治を描き尽くした浮世絵師」展を開催します

市立国際版画美術館では2023年10月7日から、「楊洲周延 明治を描き尽くした浮世絵師」展を開催します。

楊洲周延（ようしゅうちかのぶ・1838-1912）は、幕末から明治末にかけて活躍した浮世絵師です。明治に入り写真や石版画など新たな印刷技術が台頭するなか、周延は浮世絵師として何を描き続けたのか。本展では約300点の錦絵、版本、肉筆画を通し、その全体像に迫ります。文明開化と江戸懐古のはざまで変化する時代の空気や、人びとの息づかいを感じていただく機会となれば幸いです。

【展覧会概要】

■会 場：市立国際版画美術館 企画展示室1（原町田4-28-1）

■会 期：2023年10月7日（土）～12月10日（日）（55日間）

※会期中に展示替えがあります。

前期10月7日（土）～11月5日（日）

後期11月8日（水）～12月10日（日）

※月曜休館。ただし10月9日（月祝）は開館し、10月10日（火）が休館。

※11月7日（火）は展示替えのため閉室。

■開館時間：平日：午前10時～午後5時 土日祝：午前10時～午後5時30分
（入場は閉館30分前まで）

■観覧料：一般900円、大・高生450円、中学生以下無料

※展覧会初日（10月7日）と文化の日（11月3日）は無料です。

※展覧会の詳細は、国際版画美術館公式サイトを参照ください。



【プレス内覧会】

■会 場：市立国際版画美術館（原町田4-28-1）

■会 期：10月6日（金）午後1時30分～午後2時30分

※予約は不要です。

※開会式は開催いたしません。

※一般向け内覧会は、同日の午後3時00分～午後5時00分（午後4時30分受付終了）に実施します。